

第1回

かべ新聞コンテスト

最優秀賞

『まだまだ知らない下水道新聞』

東京都板橋区立志村第二小学校 5年生

横内 楓

■ 講評

下水道システムを図・文章により分かりやすくビジュアルに表現している。また、汚れた水をきれいにする為のエネルギーについても着目している。立体感がありわかりやすい。情報量も多いし丁寧に仕上がっている。

一般財団法人環境清正財団

代表理事 伊藤 岩雄

まだまだ知らない

下水道新聞

みんなが使った水のゆくえ

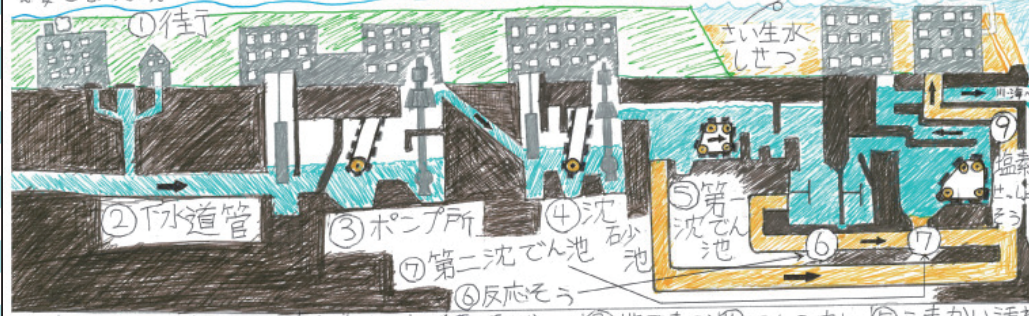
わたしたちは、台所洗たく機、トイレ、お風呂、この場所から汚れた水を出しています。その汚れた水がどこへ行くか考えたことはありますか。汚れた水の流れた水がどこへ行くのかをしようかします。まず家の排水が下水道管に流れます。家の外では雨水が下水道管に流れていきます。雨水は下水道管に流れていきます。そしてマンホールというところでも下水道管につながっています。



家で1人が1日に使う水の量 約220L
…バケリ1がい(10L)で22はいになります。

天井の油20ミリリットルをすすると、魚がかわいてきに住める水にするために風呂おけ20は分(6000リットル)の水が必要となります。

下水を運ぶ地下の道が、下水道管は、だんだんわたしたちが歩いている道や道路の下にあり、8cmのものが多くあります。新幹線の線が、より入っています。大きな下水道管もあります。



①生活する中で使った水は下水道管へ。
②汚水や雨水を集めて水再生センターまで運ぶ。
③地下まで流れた下水をくみ上げて水再生センターに流す。
④下水の中にある大きなゴミなどを沈めて取りのぞく。
⑤二まかい汚水を2〜3日時間かけてゆっくり沈めて取りのぞく。
⑥二まかい汚水を2〜3日時間かけてゆっくり沈めて取りのぞく。
⑦反応槽が流れてきた水を3〜4時間かけて取りのぞく。
⑧石のようなものを水再生センターで取りのぞく。
⑨⑩の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
⑪⑫の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
⑬⑭の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
⑮⑯の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
⑰⑱の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
⑲⑳の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉑㉒の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉓㉔の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉕㉖の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉗㉘の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉙㉚の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉛㉜の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉝㉞の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㉟㊱の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊲㊳の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊴㊵の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊶㊷の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊸㊹の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊺㊻の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊼㊽の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。
㊾㊿の後の沈めたりは水を塩素の仲間と混ぜて水再生センターで取りのぞく。

第1回

かべ新聞コンテスト

審査員特別賞

『こども下水道新聞』

愛知県 名古屋市立金城小学校 2年生

孫田 湊丞

■ 講評

低学年でこれだけ優れた作品ができることは驚きである。レイアウトが優れている点、豆知識的な内容が描かれていて読み手の興味を惹いている点、感想が充実している点が他作品と比べ優れている。

東洋大学情報連携学部

教授 花木 啓祐



第1回

かべ新聞コンテスト

優秀賞

『下水道ってなーに？下水道新聞』

千葉県 松戸市立常盤平第二小学校 5年生

越智 匠海

■ 講評

イラストや色を使っているため読み手のことを考えた見やすい構成となっている。ビジュアルが一番よく、うまくまとめられている。

神奈川新聞 クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部

